学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	音楽Ⅱ　Tutti＋　（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●音楽の学習は主体的（自分から求めて動く）に行ってほしいと思います。そして自分自身を表現できることの楽しさや、音楽に対する豊かな感性を身につけましょう。
●音楽Ⅰで学習した内容をさらに深め、「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」のそれぞれの分野を学習します。芸術音楽だけでなく、幅広くポピュラー音楽等も取り入れます。
●評価は、出席及び取り組み状況・ワークシート等の状況・実技テストで行います。

2　学習の到達目標

○音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
【知識及び技能】
音楽の構造や文化的・歴史的背景について、それらの価値を考え理解を深めることができる。また、自身の解釈を持って音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら自身の解釈を持って音楽を評価し、歌唱・器楽・創作・鑑賞の音楽表現を工夫することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化を関連付け、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深め、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしている。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自身の解釈を持って歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら自身の解釈を持って音楽を評価し、歌唱・器楽・創作・鑑賞の音楽表現を工夫している。	・音や音楽を音楽文化に関連付けて関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	豊かな声で歌おう	【歌唱】 「365日の紙飛行機」 「Tomorrow」 「島唄」	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技】曲にふさわしい発声とことばの発音で歌えている。 b:馴染みのあるリズムや旋律を知覚し、自己の解釈をもって音楽表現を工夫している。 c:一定以上の声量で主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	音楽の雰囲気を味わおう	【鑑賞】 「島人ぬ宝」 「てぃんさぐぬ花」 「安里屋ユンタ」 【創作】 ・琉球音階でメロディー作り	a:【知】楽曲や琉球音階の文化的・歴史的背景について理解している。 【技】①琉球音階の響きを感受しながら鍵盤楽器で弾いている。②音階の一定の規則に従ってメロディーを創作し、創意工夫を生かして表現している。 b:琉球音階の構造や響きを感受し、聴き覚えのある共通の響きをもった楽曲を言い当てようとしている。 c: 琉球音階に興味関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 創作発表	創作 進捗 状況 ワーク シート	観察
	物語と音楽との関わりに注目しよう	【鑑賞】 ・オペラ 「トゥーランドット」 ・ミュージカル 「CATS」　他 【創作(知的理解教材)】 ・場面や音楽を選んでポスター制作	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解し、それらをポスターで表現している。 b:音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構造を知覚し、その働きを感受しながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:物語と音楽の関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート ポスター	ワーク シート	観察

二学期	気持ちを込めて歌おう 合唱を楽しもう	【歌唱】 「Pretender」 「歌の翼に」 【合唱】 「糸」(二声部唱) 「ほたるこい」(輪唱)	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現・合唱表現の特徴を理解している。 【技】音楽記号や和音を理解して表現につなげる技能を身に付けている。 b. 楽曲と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持って、意欲的に歌おうとしている。 c:一定以上の声量で主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	和楽器のアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 箏 ・練習曲 ・アンサンブル 「おどるポンポコリン」	a:【知】「弱押」「合わせ指」の奏法を理解して楽曲の特性を理解している。 【技】「弱押」「合わせ指」を的確に演奏し、アンサンブルで表現する技能を身に着けている。 b:「弱押」「合わせ指」の響きを感受し、適切な奏法で弾こうとしている。 c:既習内容を復習しながら主体的・協働的に箏アンサンブルに取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	楽器のルーツを辿ろう	【鑑賞】【創作】 楽器の分類 ・E・HとK・Zによる5分類法のさらなる分類 ①弦鳴楽器のチター族 ②体鳴楽器のはじく形 ・各分類項目の主な楽器の演奏鑑賞 ・カリンバ(親指ピアノ)演奏	a:【知】 チター族楽器の構造や発音のしくみを理解し、それぞれの地域のチター楽器の特色を理解できている。 【技】カリンバの構造や奏法を理解し演奏する技能を身に付けている。 b: チター楽器やカリンバの音楽的特性を理解し、適切な奏法で演奏しようとしている。 c:主体的・協働的に演奏学習に取り組もうとしている。	ワーク シート 実技発表	観察 ワーク シート	観察
三学期	外国の歌を歌おう	【歌唱】 「トラジ打鈴」 「歌の翼に」 「Yesterday once more」 「草原情歌」	a:【知】楽曲と文化的・歴史的背景との関わりや言語の特性を理解している。 【技】曲にふさわしい発声及び言語の特性を生かして歌っている。 b: 世界のあらゆる国や地域の音楽の特徴を感受し、それらを意識して歌おうとしている。また、自身の知る世界の楽曲について積極的に意見を述べようとしている。 c:世界のあらゆる国や地域の歌唱に主体的・協働的に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート

	器楽演奏を楽しもう	【リズムアンサンブル】 ・ボディパーカッション　他 【器楽】 ・打楽器，キーボード，ハンドベル等 ・練習曲およびコード学習 （C, G, F） ・クラシックギター 「禁じられた遊び」 他	a:【知】様々な奏法、楽器の特性について理解を深めている。 【技】適切な奏法を身に着け、正確なリズムと音程で器楽演奏ができている。 b: 音楽表現を工夫し、意図を持って演奏している。 b: メロディー及び3つ以上のコード（C・G・F）の和音の響きを感受し、適切な指使いで弾こうとしている。 c: アンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度